



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)9月25日号 No.1870

目次

■ ロシア下院選・地方選の結果速報	中馬 瑞貴 1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 10
■ トピックス	20
経済産業省とロスネフチがカーボンマネジメントで協力／20	
ルクオイルとガスプロムネフチが合弁会社設立／20	
ルスギドロが北コーカサスで発電所新設／20	
ウクライナが財閥弱体化の法案可決／20	
茂木外相とラブロフ外相がNYで会談／20	
ロシア・NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース／20	

ロシア下院選・地方選の結果速報

ロシアNIS経済研究所 研究員
中馬 瑞貴

はじめに

2021年9月17日から19日にかけて、ロシアで連邦下院選挙が行われた。ロシアの下院は定数450議席のうち、半数の225議席を小選挙区、残りの225議席を政党名簿による比例代表制で選出する。9月20日(開票率100%)時点で中央選挙管理委員会が発表した暫定結果によれば、比例では、「統一ロシア」が得票率49.82%で第1位となり、小選挙区の当選者と合わせて憲法改正に必要な3分の2議席以上を確保する見通しである。2位以下はロシア連邦共産党、ロシア自由民主党、「公正ロシア」が続いた。加えて、2020年に誕生した新政党「新しい人々」が下院の議席獲得に必要な得票率5%をクリアし、初めて連邦下院に議席を獲得している。

同日には9つの連邦構成主体で首長選挙が実施され、すべての選挙で現職首長(および代行)が当選を果たし、39の構成主体で行われた構成主体議会選挙や11の行政中心都市で行われたすべての市議会選挙で、比例区においては「統一ロシア」が第1党になった。

以下では、主要な選挙の結果速報と、それに対するロシアの政治家、政治評論家による評価について、主に現地報道からの抜粋を中心にお伝えする。

なお、ロシアによるウクライナ領クリミアの併合は国際的には承認されておらず、今回の連邦下院選挙の結果についても多くの国がクリミアでの選挙結果を認めないとの方針を発表しているが、以下では、ロシアの情報源に依拠しているため、クリミア共和国およびセヴァストポリ市の選挙結果についても含まれている。しかし、当然のことながら、ロシアによるクリミア併合を是認するものではない。